

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

共立女子大学・共立女子短期大学
2023 年度入試 全学統一方式

国 語

注意事項

1. この問題冊子は 14 ページあります。

大問	科目	ページ	選択方法	
一	現代文	1～5	必答問題	
二		6		
三	現代文	7～10	選択問題	選択問題は出願時に登録した問題、いずれか1問を選択し、解答しなさい。
四	古文	11～14	選択問題	

2. 万一、落丁などがある場合は直ちに申し出ること。
3. 解答は全てマークシート解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙には座席番号・氏名を必ず記入すること。
5. 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 選択問題は出願時に登録した問題を解答すること。登録以外の問題を解答した場合は無効となります。
7. マークシート解答用紙の記入に当たっては、HB の鉛筆またはマークシートペンを使用すること。(シャープペンシルは不可)
8. マークシート解答用紙に記載の「記入上の注意」をよく読んでから解答すること。
9. 解答は、マークシート解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問に対して㉔と解答する場合は、次の(例)のように、10 の解答欄の㉔にマークしなさい。

(例)

解 答 欄	
10	㉔(イ)●(エ)㉕(カ)

10. 試験終了後、試験問題は持ち帰ること。

国語

大問	科目	選択方法	
一	現代文	必答問題	
二			
三	現代文	選択問題	選択問題は出願時に登録した問題, いずれか1問を選択し, 解答しなさい。
四	古文	選択問題	

(必答問題)

— 次の文章をよく読んで、後の問に答えなさい。(解答番号は

1

〜

13

)

身体は他者である。たんに比喩的な意味で言っているのではない。自分の容貌が鏡の助けを借りなければ見ることができないように、身体もまた鏡像によって選りよいのない与件として自己に与えられる。身体は「視^みられる」こと^①によってのみ「発見」される。

女性は「視られる身体」としての自己身体を、早いうちから否応なしに発見させられる。その身体は、誘惑の客体として、視線の持ち主Ⅱ男性主体から、評価され、比較され、^(a)値踏みされる。女性は「視られる対象」としての自己身体と折り合いをつけるために、思春期から何十年にもわたる葛藤に満ちた経験をするようになる。

自己身体が性的に価値の低い場合は、自己身体と自己意識とのあいだに折り合いをつけるのは難しい。身体の性的価値はつねに他者に依存しているから、エステやダイエットも、身体を自己コントロールしているように見えて、その実、他者の視線の

A にほかならない。ある摂食障害の女性が、年齢が彼女を性的存在であることから解放してくれたとき、はじめて安心して食べられるようになったという例に見られるように、他者への依存すなわち他者からの評価を放棄したとき、「i」彼女は自己身体を受け入れることができたのである。

自己身体が「ii」性的に高い価値を持っている場合でも、自己身体との関係は容易ではない。自分のコントロールできない価値を「iii」付与されることで、男性の欲望や賞賛に対する依存が起きる。誘惑の客体として「iv」他者に依存しつつ自己確認をするほかない嗜癖^(b)を、わたしたちはまちがってニンフォマニア(多淫症)と呼んできた。まことにラカンのいうとおり、欲望とは「他者の欲望の欲望」、すなわち欲望されることの欲望なのだ。

衣服や化粧は社会的な記号だが、その気になれば着たり脱いだりすることができる。だが裸のボディは？ 裸体が

B

な記号として、市場価値を付与されるとなれば、市場の規範に合わせて自己身体をコントロールしなければならぬ。ダイエットやシェイプアップはそのようなセルフ・コントロールの表現であり、自己身体が社会に馴致^(c)されていることの証明である。

極端な肥満はそれ自体でセルフ・コントロールの失敗をあらわし、非難の対象となる。②ここでは身体が人格なのだ。

身体の他者性が自覚化されれば、作家の斎藤綾子のように言い放つこともできる。わたしはウエットスーツを着るようにたまに男から見て魅力のある女のボディを着ているだけだ、と。このボディを投げ出せばおもしろいように男が寄ってくる、わたしはその雄の発情につけこむが、それはわたしの与り知らぬことだ、と語る斎藤には、自己身体とのクールな距離がある。③

もしボディがウエットスーツのように自由に着脱のできるものであつたら。そしてウエットスーツのように望ましいボディをオーダーメイドすることができたなら。——身体の他者性の彼方には、こうした究極の欲望が潜んでいる。④

(上野千鶴子『発情装置』による)

注 ラカン——フランスの精神分析学者。

問一 A と B に入る語としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解

答番号は、Aは 1、Bは 2。

A ⑦ 実体化

① 可視化

② 外在化

③ 内面化

B ⑦ 世俗的

① 社会的

② 個別的

③ 歴史的

問二 「i」「iv」に入る語としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番

号は、iは 3、iiは 4、iiiは 5、ivは 6。

⑦ つねに

① たまたま

② はじめて

③ 一方的に

問三 波線部(a)～(c)の解釈としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号

は、(a)は 、(b)は 、(c)は 。

(a) ア 慎重に品定めされる

イ 本来の価格が値切られる

ウ あるべき価値が転倒される

エ 一方的に値段をつけられる

(b) ア 反社会的な趣味

イ 独特な好みの傾向

ウ 依存性がある習慣

エ 生得的な嫌悪の感情

(c) ア 思いがけず蝕まれている

イ 都合よく利用されている

ウ 意識せずに慣らされている

エ 強制的に一致させられている

問四 傍線部①について、なぜ身体は「視られる」ことによって「『発見』される」とされるのか。その理由としてもっとも適切なものを、次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 10。

- ア 身体イメージは内省的なものであるから。
- イ 身体イメージはプライベートなものであるから。
- ウ 身体イメージは直接自分で確認できないものであるから。
- エ 身体イメージは他者の想像力と関わりが深いものであるから。

問五 傍線部②について、「ここでは身体が人格なのだ」の説明として適切でないものを、次の中から一つ選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 11。

- ア 身体と人格は相似形をなしている。
- イ 身体にはその人の人格が宿っている。
- ウ 人格は身体によって左右されている。
- エ 身体は人格によってコントロールされている。

問六 傍線部③について、「クールな距離」とはどのような「距離」と考えられるか。その説明としてもっとも適切なものを、次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 12。

- ア 絶対的な「距離」
- イ 現実的な「距離」
- ウ 感覚的な「距離」
- エ 理性的な「距離」

問七 傍線部④について、「こうした究極の欲望が潜んでいる」とあるが、どのような「欲望」と考えられるか。その説明として
もつとも適切なものを、次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 13。

- ア 自分で自分の身体の痕跡を消し去りたいという欲望。
- イ 自分で自分の都合のいい身体を選びたいという欲望。
- ウ 他者の評価に適った身体を自分で選びたいという欲望。
- エ なりたい他者の身体へ自分の身体を合一化したいという欲望。

(必答問題)

次の漢字に関する(1)と(2)の間に答えなさい。(解答番号は

14

23)

(1) a～eの四字熟語には、それぞれ誤字が一字ずつある。正しい漢字を、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。

い。解答番号は、aは 14、bは 15、cは 16、dは 17、eは 18。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | 不和雷同 | ア | 付 | イ | 話 | ウ | 頼 | エ | 堂 |
| b | 明鏡紫水 | ア | 銘 | イ | 興 | ウ | 止 | エ | 醉 |
| c | 感外無量 | ア | 観 | イ | 慨 | ウ | 夢 | エ | 料 |
| d | 才色兼美 | ア | 彩 | イ | 食 | ウ | 見 | エ | 備 |
| e | 委心伝心 | ア | 以 | イ | 真 | ウ | 電 | エ | 身 |

(2) a～eの意味にあてはまる二字熟語の□に入る漢字を、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、

aは 19、bは 20、cは 21、dは 22、eは 23。

- | | | | | | | | | | |
|---|----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| a | 値段が安いこと。↓□備 | ア | 烈 | イ | 廉 | ウ | 劣 | エ | 良 |
| b | 将来が気にかかって不安に思うこと。↓□念 | ア | 疑 | イ | 慮 | ウ | 懸 | エ | 思 |
| c | この上もなく優れていること。↓□上 | ア | 到 | イ | 至 | ウ | 史 | エ | 致 |
| d | 相手を見くだすこと。↓□蔑 | ア | 辱 | イ | 悔 | ウ | 嘲 | エ | 侮 |
| e | 重大事を急いで報告すること。↓□進 | ア | 注 | イ | 諫 | ウ | 迅 | エ | 告 |

大問三～大問四は、出願時に登録した問題、いずれか一問を選択し、解答しなさい。

(選択問題) 三

次の文章をよく読んで、後の問に答えなさい。(解答番号は

24

43)

海のくらしが、潮の満ち干きに左右されることは、海辺の漁師たちの日常を見るまでもなく明らかであろう。この海面の果てしない昇り降り^レは、地球の自転による月の引力の、周期的な **A** がひき起こすもので、一日に二度、いわゆる朝な夕

なに見られるところから「潮汐リズム」と呼ばれている。その周期は、しかし、一日すなわち「昼夜リズム」の二四時間よりも五〇分ずつ長い二四・八時間である。これは、基準となる月そのものが、地球の周りを巡るからで、太陽を基準とした時より、とうぜんそれだけ長くかかることを意味するものだが、毎日毎日、干潮と満潮が、月の出・月の入と共に確実にズレていく、この世界のなかで海辺の生物たちは生を「 a 」でいる。

さて、海辺の生活を左右する⁽ⁱ⁾のは、はたして、この潮汐リズム^(iv)だけなのだろうか。かれらは磯に近づくほど、太陽光線の影響を受けやすくなる。ここでは、潮の満ち干きだけでなく、日光の明暗い⁽ⁱⁱ⁾かえれば一日二四時間を周期とする「昼夜リズム」の支配も、しだいに受けるようになってくるのである。

かのムツゴロウは、実験によれば、故郷有明海の干潮の時間帯が、朝夕の未明・

B

と重なった、つまり夜間満潮時

に、もつとも多く巣穴からはい出してくるとい⁽ⁱⁱⁱ⁾う。このデータは、かれらの肉体が、潮の干満だけでなく、光の明暗にも同時に **C** している、いかえれば、「太陰日」と「太陽日」の、二種類の日リズムの支配下に置かれていることを、如実に物語るものといえよう。

この陰・陽の両リズムは、遠い祖先から、代々にわたって受け継がれ、もはや、生まれながらの、いわゆる体内時計^Iとなつて、めいめいの時を自分のペースで刻み続けているものである。かれらの活動が、きつちり二週おきに活発となるのは、いってみれば、振動数の少しズレた、二種の音叉^{おんさ}が唸り^{うな}を発するのと同じであることが以上のことからうかがわれるだろう。

私たちの遠い祖先は、古生代の終わりに、それまでの長い波打際の生活を捨て、上陸を **D** したといわれる。この一億年に及ぶ上陸のドラマが受胎一カ月後の一週間に、子宮の羽二重の褥を、いわば檜舞台として演じられる。胎児のからだはその間、小豆からソラ豆大に成長するが、その時、首すじに刻み込まれた鰓の形象は、耳の穴を残して消え、その魚類を思わせる顔は、またたく間に、両生、爬虫類のそれを経て、哺乳類獅子頭の相貌にまで、劇的な変化を「b」のである。

胎児は、こうして自分のからだを「c」で、遠い祖先の上陸の日々を、夢幻のごとく、再現させるが、どの動物も、胎児の時代にひとしく演じて見せる、この上陸劇は、かれらの小さなからだの、どこか奥深くに、すでに海辺のリズムが込められていたことを、私たちに想像させずにはおかない。それは、ムツゴロウの、例の二種類の体内時計と同類のものであることはいうまでもない。

さて、この二つの時計は、上陸以後その均衡が「d」れてくる。しだいに遠のく故郷の潮騒に代わって、にわかには照りつける灼熱の日射しが、両者の勢力に、ゆるやかな **E** の現象を起こさせることになる。そこでは、古い潮汐時計の上に、新しい昼夜時計が重なり、陸地に定着を終えた今日では、もはや、後者が前者をすっかり覆いつくしてしまう。これが、一日二四時間を単位とする現代の形である。

私たちは、ここで、ひとつの興味深い事実を振り返ってみなければならぬ。赤ん坊の睡眠リズムが、二四時間に定着するまでの一見でたらしめな波は、はっきり二五時間の周期を示している。いってみれば潮汐リズムに昼夜リズムがとって代わるのだとすれば、いわゆる夜行族とは潮汐離れの不十分な人間ということにもなる。いずれにせよ、遠い海辺の時代の「生命記憶」は、ことあるごとに、その頭を「e」ようと、うごめき続けているのだろう。

(三木成夫『内臓とこころ』による)

問一 傍線部(i)～(v)の語の品詞として適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、

(i)は 24、(ii)は 25、(iii)は 26、(iv)は 27、(v)は 28。

㊦ 助動詞

㊧ 助詞

㊨ 連体詞

㊩ 名詞

㊪ 副詞

問二

A

E

に入る語としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解

答番号は、Aは 29、Bは 30、Cは 31、Dは 32、Eは 33。

A ㊦ 増減

㊧ 大小

㊨ 有無

B ㊦ 深更

㊧ 薄暮

㊨ 中天

C ㊦ 感応

㊧ 消去

㊨ 反射

D ㊦ 断念

㊧ 優先

㊨ 敢行

E ㊦ 上下

㊧ 混同

㊨ 逆転

問三 「a」～「e」に入る語としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい(活用形

の違いは問わない)。解答番号は、aは 34、bは 35、cは 36、dは 37、eは 38。

㊦ 遂げる

㊧ 費やす

㊨ 過ごす

㊩ もたげる

㊪ 張る

㊫ 降る

㊬ 営む

㊭ 閉じる

㊮ 凌ぐ

㊯ 破る

問四 二重傍線部X、Y、Zの意味としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号

は、Xは 、Yは 、Zは 。

X ① 高級な絹布でくるんだ布団 ② 柔らかな敷物を敷いた床板 ③ ぶあつい壁に囲まれた部屋

Y ④ 役を演じる場 ⑤ 見栄える場 ⑥ 晴れの見せ場

Z ⑦ 恐ろしくなるほどに ⑧ 我を忘れるほどに ⑨ 信じられないほどに

問五 波線部IとIIについて、その理由としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解

答番号は、Iは 、IIは 。

I ① 体内の潮汐リズムと昼夜リズムがずれ始めるタイミングだから。

② 体内の潮汐リズムが昼夜リズムに切り変わるタイミングだから。

③ 体内の潮汐リズムと昼夜リズムが重なるタイミングだから。

④ 体内の潮汐リズムと昼夜リズムが止まるタイミングだから。

II ⑤ 睡眠と活動の時間が逆転する状態だから。

⑥ 睡眠が昼夜リズムになりきる前の状態だから。

⑦ 精神的にまだ赤ん坊のままの未熟な状態だから。

⑧ 一日のリズムとはほぼ無縁な状態だから。

大問三～大問四は、出願時に登録した問題、いずれか一問を選択し、解答しなさい。

(選択問題) 四 次の文章は平安時代の「和泉式部日記」の一節で、宮が夜遅く女の家を訪ねた場面が描かれている。よく読ん

で、後の問に答えなさい。(解答番号は、 ～)

(a) 晦がたに風いたく吹きて、野分だちて雨など降るに、常よりも物心細く眺むるに、例の御文あり。例の「1」知り顔にのたまはせたるに、日頃の罪許し聞こえつべし。

歎きつつ秋のみ空を眺むれば雲うち騒ぎ風ぞはげしき

返り事、

秋風は気色吹くだに悲しきにかきくもる日は言ふかたぞなき

げにさぞあらんかしとおほせど、例のほどへぬ。

(c) 九月二十余日ばかりの「2」の月に目覚まして、いみじう久しうもなりにけるかな、あはれこの月は見るらんかしとおほせど、例の童ばかり御供にておはしまして、門を叩かせ給ふに、目を覚ましてよろづ思ひ続け臥したるほどなりけり。

すべてこのほどは、折からにや物心細くあはれに常よりもおほえて眺めける。あやし、誰ならんと思ひて、前なる人を引き起こして問はせんとすれども起きず。からうじて起きても、ここ「3」物に当たり騒ぐほどに、叩き止みぬ。

帰りぬるにやあらん、いぎたなしと思はれぬるにぞ、物思はぬ様なれば。同じ心にまだ寝ざりける人かな、誰ならんと思ふ。からうじて起きても、「人もなかりけるに、「4」聞きおはさうじて、夜のほどにまどはさる。騒がしの殿のおもとたちや。」と腹立ちてまた寝ぬ。

女はやがて寝で、いみじう霧りたる空を眺めて明くなりぬれば、暁起きのほどのことどもを物に書きつくるほどにぞ、宮より例の御文ある。ただ、

(iii) 秋の夜の有明の月の入るまでにやすらひかねて帰りにしかな
 いでや、げにいかに口惜しき者におぼしつらん、と思ふよりも、まことにあはれなる空の景色を見給ひけると思ふにかしう
 て、この「5」の様に書きたるものをぞ、引き結びて奉る。

問一 傍線部(a)～(e)の読みを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、(a)は 、(b)は

- | | | | | | | |
|---------------------------------|-------|---------------------------------|-------|---------------------------------|-------|---------------------------------|
| <input type="text" value="25"/> | 、(c)は | <input type="text" value="26"/> | 、(d)は | <input type="text" value="27"/> | 、(e)は | <input type="text" value="28"/> |
| (a) | つごもり | (イ) | くれ | (ウ) | くもり | |
| (b) | のわき | (イ) | のわか | (ウ) | やぶん | |
| (c) | しもつき | (イ) | かなづき | (ウ) | ながつき | |
| (d) | わらわ | (イ) | とねり | (ウ) | おのこ | |
| (e) | あかる | (イ) | あか | (ウ) | あきらけ | |

問二 「1」～「5」に入る語を、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、1は 、2は

- | | | | | | | |
|---------------------------------|-----|---------------------------------|-----|---------------------------------|-----|---------------------------------|
| <input type="text" value="30"/> | 、3は | <input type="text" value="31"/> | 、4は | <input type="text" value="32"/> | 、5は | <input type="text" value="33"/> |
| 1 | 心 | (イ) | 折 | (ウ) | 物 | |
| 2 | 有明 | (イ) | 更級 | (ウ) | 闇夜 | |
| 3 | そこ | (イ) | かしこ | (ウ) | しか | |
| 4 | 物音 | (イ) | 寝言 | (ウ) | 空耳 | |
| 5 | ながめ | (イ) | 手習ひ | (ウ) | 御文 | |

問三 波線部A～Cの主語を、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、Aは 、Bは 、Cは 。

- ア 女 ① 宮 ウ 女と宮以外の人

問四 破線部①～④の品詞を、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、①は 、②は

、③は 、④は 。

- ア 名詞 ① 動詞 ウ 形容詞 エ 形容動詞
オ 副詞 カ 連体詞 キ 助動詞 ク 感動詞

問五 点線部(i)～(iii)の語の意味としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、(i)は 、(ii)は 、(iii)は 。

- (i) ア 見た目が悪い ① 目覚めが悪い ウ 心配りがない
 イ 安心する ① 滞留する ウ 遠慮する
(ii) ア 安心する ① 滞留する ウ 遠慮する
(iii) ア 出なさい ① いやはや ウ どんなに

問六 二重傍線部ⅠとⅡについて、具体的な内容としてもっとも適切なものを、それぞれ次の中から選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、Ⅰは 44、Ⅱは 45。

Ⅰ ア 宮が、女との立場の違いを口実にすること。

イ 宮が、女と無理に趣味を合わせようとする事。

ウ 宮が、女のところになかなか訪ねて来ないこと。

Ⅱ ア 女が、一人で心細い思いをしていること。

イ 女が、訪れない宮を怒っていること。

ウ 女が、秋の風情にしみじみ浸っていること。

問七 宮と女に関して、問題文からは読み取れそうもないことを、次の中から二つ選んで、記号をマークしなさい。解答番号は 46。

ア 宮は、しばらく女の家を訪ねていないことを気にしてはいた。

イ 女は、その夜久しぶりに訪ねて来たのは宮だという確信があった。

ウ 女は、宮との関係も含め、あれこれと思い悩む時期にあった。

エ 宮は、せっかく女の家を訪ねたのにといい恨めしい思いもあった。

オ 女は、宮の歌を読み、嬉しいよりも恥ずかしい気持ちが強かった。

問八 問題文の「和泉式部日記」は和泉式部と呼ばれた女性を書いたとされるが、次の中から、男性が書いたとされる作品を一つ選んで、記号をマークしなさい。解答番号は、 47。

ア 土佐日記

イ 紫式部日記

ウ 讃岐典侍日記

エ 更級日記

オ 十六夜日記